# 平成17年度 定期作況報告

(10月20日現在)

北海道立畜産試験場

# 新得本場

#### 気象概況

- 9月下旬:気温は平年比-1.0 でやや低く、降水量は平年比36%となりやや少なかった。日照時間は平年比112%で平年並であった。
- 10月上旬: 気温は平年比+1.2 でやや高かった。降水量は平年比34%でやや少なかった。日照時間は平年比135%でかなり多かった。
- 10月中旬: 気温は平年比+1.4 でやや高かった。降水量は平年比41%でやや少なかった。日照時間は平年比107%で平年並であった。
- 以上本期間の気象は気温がやや高く、降水量はやや少なく、日照時間はやや多く経過した。

	9	9月下旬			0月上旬		1	10 月中旬		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
平均気温 ( )	12.0	13.0	1.0	11.6	10.4	1.2	10.3	8.9	1.4	
最高気温( )	16.8	17.9	1.1	16.8	15.4	1.4	15.3	14.3	1.0	
最低気温()	6.7	8.6	1.9	5.9	6.4	0.5	4.9	4.0	0.9	
降水量(mm)	21.0	58.3	37.3	16.5	49.0	32.5	13.5	33.1	19.6	
降水日数(日)	2	4.4	2.4	6	4.3	1.7	3	3.9	0.9	
日照時間(時間)	56.8	50.7	6.1	59.9	44.4	15.5	56.4	52.6	3.8	

- 注1.各数値は旬の平均または合計。 印は減を示す。
- 注2. 平年値は前10か年の平均値。ただし、平成11年11月に気象システムを更新移設したため、気温の平年値については新旧データから回帰式を作成し、旧システムでの平年値を補正して用いた。その他の項目は従来のシステムでの値をそのまま用いた。

:作況

1.牧草

(1) チモシー・アカクローバ混播(採草型)

作況 3番草:良

#### 事由

3番草:2番草の収穫が平年より9日遅れた事と、生育後半の9月中旬以降の少雨の影響により3番草の草丈の伸びは悪かった。そのため、3番草の収穫は平年より14日遅い10月20日に行った。チモシーの草丈は平年より6cm~14cm低かったが、気温がやや高く、日照時間も多めに推移した事もあって乾物率は高めであった。乾物収量は、2年目草地が216kg/10aで平年比は129、3年目草地は166kg/10aで平年比は98であった。従って両草地の平年比の平均は114となり、作況は良である。

調査項目 -			2 年目	草地		3 年目草地			
		本年	平年	比較	同比	本年	平年	比較	同比
3 番草									
刈取月日(月・日)		10.20	10.6	14		10.20	10.6	14	
草丈 ( cm )	TY	35	49	14		40	46	6	
	RC	27	35	8		-	30	-	

生草収量(kg/10a)	977	969	8	101	633	884	251	72
乾物収量(kg/10a): 3 番草	216	168	48	129	166	169	3	98
1 ~ 3 番草通算	1041	1019	22	102	923	981	58	94
マメ科率(生草%)	14.2	43.3	29.1		0	18.8	18.8	

注1.TYはチモシー「センポク」、RCはアカクローバ「サッポロ」の略。

注2. 平年値は2年目草地および3年目草地ともに前7か年中、平成10年(豊)、平成12年(凶)を除いた5か年の平均値。

注3. 印は減を示す。

# 2)オーチャードグラス・シロクローバ混播(放牧型)

作況 5番草: やや良

# 事由

5番草:草丈は平年並みであった。乾物収量は、2年目草地が132 kg/10a で平年比は99、3年目草地が128 kg/10aで平年比は116であった。両草地の平年比の平均は108となり、作況はやや良である。

	調査項目			目草地		3年目草地			
<b>祠</b> 且垻日	本年	平年	比較	同比	本年	平年	比較	同比	
5 番草									
刈取月日(月・日)		9.30	9.30	0		9.30	10.1	1	
草丈 ( cm )	OG	47	45	2		41	41	0	
	WC	29	25	4		-	24	-	
生草収量(kg/10a)		871	789	82	110	759	672	87	113
乾物収量(kg/10a):	5 番草	132	134	2	99	128	110	18	116
1~5番	草通算	895	1005	110	89	724	873	149	83
マメ科率(生草%)		16.8	7.7	9.1		0	9.2	9.2	

注 1 . O G はオーチャードグラス「キタミドリ」、W C はシロクローバ「カリフォルニアラジノ」の 略。

注2.平年値は、2年目草地は前7か年中、平成10年(豊)と平成12年(凶)を除いた5か年の平均値、3年目草地は前7か年中、平成11年(豊)、平成15年(凶)を除いた5か年の平均値。

注3. 印は減または早を示す。

#### 2.とうもろこし

作況:平年並

#### 事由

収穫は平年より2~4日早い9月22日に行った。収穫時の熟度はほぼ平年並であった。総体乾物収量の平年比は「ワセホマレ」が113と高かったが、「オーロラ82」は96であった。乾雌穂率は平年と同程度かやや低くかった。TDN収量の平年比は「ワセホマレ」が112、「オーロラ82」が96で、両品種を平均すると104であった。以上から本年の作況は総じて平年並みと判断された。

項目		ワセス	トマレ			オーロラ	8 2	
	本年	平年	比較	平年比	本年	平年	比較	平年比
収穫期 (月日)	9.22	9.24	2		9.22	9.26	4	
収穫時稈長(cm)	193	188	5		201	217	16	
収穫時熟度	黄中	黄中			黄初・中	黄初		
生草収量(kg/10a)								
雌穂	1124	1121	3	100	1308	1489	181	88
茎葉	2697	2407	290	112	3725	3834	109	97
総体	3821	3528	293	108	5033	5323	290	95
乾物率(%)								
雌穂	54.3	51.2	3.1		51.3	47.0	4.3	
茎葉	22.5	21.0	1 .5		19.5	19.7	0.2	
総体	31.7	30.4	1.3		27.8	27.3	0.5	
乾物収量(kg/10a)								
雌穂	610	575	35	106	671	700	29	96
茎葉	607	499	108	12 <mark>2</mark>	727	753	26	97
総体	1217	1074	143	113	1398	1453	55	96
乾雌穂率(%)	50.1	53.5	3.4		48.1	48.2	0.1	
TDN 収量(kg/10a)	872	779	93	112	994	1033	39	96
TDN 含量(%)	71.6	72.5	0.9		71.1	71.1	0	

注1. 平年値は「ワセホマレ」が前7か年中、平成16年(豊)、平成10年(凶)を除いた5か年の平均値、「オーロラ82」が前4カ年の平均値。

# 滝川試験地

## . 気象概況

- 9月下旬: 気温は平年比-0.1 で平年並みであった。降水量は平年比 41%で少なかった。 日照時間は平年比 117%でやや多かった。
- 10月上旬: 気温は平年比+0.7 でやや高かった。降水量は平年比 135%でやや多かった。日照時間は平年比 139%で多かった。
- 10月中旬: 気温は平年比+1.8 で高かった。降水量は平年比39%で少なかった。日照時間は平年比172%で極めて多かった。

以上本期間の気象は、10月中旬の高温・寡雨・多照が特徴的であった。

		9月下旬		1 0 月上旬				10月中旬			
		 本年	平年	比較	本年	平年	比較	7	年	平年	比較
平均気温(	)	13.9	14.0	0.1	12.3	11.6	0.7	1	1.6	9.8	1.8
最高気温(	)	19.2	19.4	0.2	17.3	16.5	8.0	1	7.2	14.9	2.3

注2. 印は減または早を示す

注3. TDN 収量は新得方式(乾雌穂重×0.85+乾茎葉重×0.582)

最低気温()	8.7	8.7	0	7.2	6.7	0.5	6.0	4.6	1.4
降水量(mm)	23	56	33	73	54	19	16	41	25
降水日数(日)	3	5	2	6	6	0	4	5	1
日照時間(時間)	58.6	50.2	8.4	55.5	39.9	15.6	73.5	42.8	30.7

- 注1. 滝川地域気象観測所のAMeDAS観測値。
- 注2. 日照時間は太陽電池式日照計(新)による。
- 注3. 平年値は前10か年の平均値。
- 注4. 印は減を示す。

#### . 作況

- 1.牧草
- 1)オーチャードグラス・アカクローバ混播(採草型) 作況:4番草 平年並 中

4番草:オーチャードグラスの草丈は平年より6cm高く、アカクローバの草丈は平年より2cm低かった。総じて作況は平年並である。

			3 年目草地					
調査項目		本年	平年	比較	同比			
4 番草								
草丈 ( cm )	OG	25	19	6				
	RC	11	13	2				

- 注 1 . OG はオーチャードグラス「キタミドリ」、RC はアカクローバ「サッポロ」 の略である。
- 注2.平年値は、前7か年中、平成10年(豊)、平成12年(凶)を除いた5か年の平均値。
- 注3. 印は減または早を示す。
- 2 ) チモシー・アカクローバ混播 (採草型) 作況: 4 番草 平年並 事由

4番草:チモシー、アカクローバの草丈はほぼ平年並であった。

		3年目草地					
調査項目		本年	平年	比較	同比		
3 番草							
草丈 ( cm )	TY	18	16	2			
	RC	12	13	1			

- 注1. TY はチモシー「センポク」、RC はアカクローバ「サッポロ」の略
- 注 2 . 平年値は、前 7 か年中、平成 10 年 (豊)、平成 12 年 (凶)を除いた 5 か年の平均値。
  - 注3. 印は減または早を示す。

3)オーチャードグラス・シロクローバ(放牧型)

6番草: 平年並

# 事由

6番草:オーチャードグラス、シロクローバの草丈はほぼ平年並みであった。

調査項目			3年目	草地	
<b>则且</b> 块口		本年	平年	比較	同比
6 番草					
草丈 ( cm )	OG	26	20	6	
	WC	13	12	1	

注 1 . OG はオーチャードグラス「キタミドリ」、WC はシロクローバ「カリフォルニアラジノ」の略である。

注2.平年値は、前7か年中、平成10年(豊)、平成12年(凶)を除いた5か年の平均値。

注3. 印は減または早を示す。

# 2.とうもろこし

作況 良

#### 事由

収穫は、平年並の10月3日に行った。収穫時の熟度は黄熟後期であった。生草収量は平年の103%であったが、乾物率が高く乾物収量は平年の124%であった。乾雌穂率は61.9%で平年よりかなり高かった。総体の乾物率は34.3%で平年より高かった。TDN収量は平年の128%であった。

項目	本年	平年	比較	平年比
収穫期(月日)	10.3	10.3	0	
収穫時稈長	239	247	8	
収穫時着雌穂高	105	101	4	
収穫時熟度	黄後	黄中		
生草収量	5780	5610	170	103
乾物収量	1983	1599	384	124
乾雌穗重	1228	852	376	144
乾雌穂率	61.9	52.5	9.4	
乾物率	34.3	28.6	5.7	
TDN収量	1483	1159	324	128
DCP収量	119	93	26	128

1. 平年値は、前5年の平均値。

注2. 印は減または早を示す

注3.供試品種は「3845」